

治療法を決めていくためのシート①

記載日

年 月 日

このシートは、治療方針を決めるにあたり患者さんご家族、医療者が、価値観や治療目標を共有するためのものです。これまで書き出した内容を基に、決めた目標を目指して、協力して治療に臨みましょう。

患者さん、ご家族のお気持ちはどれに近いですか？

患者さんのお気持ち		ご家族のお気持ち	
☐	情報を十分得て自分で決めたい	☐	患者さんが決めた方針をサポートしたい
☐	医療者や家族と相談しながら決めたい	☐	医師からの説明と一緒に聞き、話し合っ決めたい
☐	医師や家族など誰かに決めてもらいたい	☐	基本的には家族が代わりに決めたい

治療に望むこと

- 1.
- 2.
- 3.

患者さんご家族（キーパーソン）で十分に話をし、納得して治療を決められましたか？

チェック ☐ はい ☐ 話せたが不十分 ☐ いいえ

→ 治療が始まった後も、医師からの説明や患者さん、ご家族の意向を共有していきましょう。

治療に関する情報は、主治医や学会のホームページ、がん専門の情報サイトなどから収集できましたか？

チェック ☐ はい ☐ いいえ ☐ 調べ方がわからない

→ がん情報サービス



ほか、主治医や医療従事者、がん相談支援センターに問い合わせしてみてください。



治療法を決めていくためのシート②

監修: 京都大学大学院 医学研究科
社会健康医学系専攻 健康情報学分野
教授 中山 健夫 先生
※ご所属・肩書は作成当時(2026年5月)
のものです。

どんな治療をされることになりましたか? 治療のメリットと思われること、
気になることはありますか?

● 治療内容

メリットと思われること

気になること

次回診察時に主治医へ確認してみましょう。

～このシートを見直すタイミング～

診断されて不安な状況から、患者さんご家族、主治医をはじめ医療従事者がチームとなってより良い方法を考え、いよいよ治療が始まります。

- 治療が終了した時
- 治療の中断を検討する時
- 治療を中断する時
- がんが再発した時
- 治療を決めた時と患者さんやご家族の気持ちや状況が変わった時

治療の見直しや新たな治療を選択する時に
(必要に応じて何度でも) 印刷してご活用ください。

